



碧南ロータリークラブ週報

第3118回例会 令和7年2月5日(水)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100
- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也



● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

一般社団法人オクシモロンズ 代表理事 清水きよ恵様

新入会員入会式

新入会員 内藤浩三君



内藤浩三君

会 長 挨拶

失礼致します。本日も例会に出席していただき、ありがとうございます。

今日、お弁当の中の人参が鬼になっていましたけど、大正館の息子さんが昨日の夜遅くまで1つずつ掘っていただいて、鬼の形にさせていただきました。鬼といえば、鯛と柊が苦手というこ



鈴木泰博会長

とで、玄関先に鯛の頭に柁を刺したものを飾って鬼が入ってこないようにすると聞いております。

今日は節分の話と恵方の話を少しさせていただきます。恵方巻きは立春の前日の節分に食べます。2025年の節分は2月2日でした。節分は2月3日のイメージが強いかもしれませんが、固定日ではなく、国立天文台が観測・計算して発表する立春の日の前日で、2月2日になったのは2021年以来ですが、2021年の時は1897（明治30）年以来、124年ぶりということで話題になっておりました。なお、2026年の節分は2月3日です。

もともと節分とは季節の分かれ目をいい、「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことを指します。しかし、昔は立春が新年の始まりにも相当する大事な節目であったため、その前日の節分は大切な日でした。そこで他の節分よりも重要視されるようになり、節分といえば立春の前日を指すようになりました。

最近では立春の前日（2月、冬の節分）以外の節分に着目し、5月の春の恵方巻き、8月の夏の恵方巻き、11月の秋の恵方巻きを提供するところもあるそうです。恵方巻きは恵方をむいて食べると良いとされております。2025年の節分の恵方は西南西（細かくいうと西南西微西）です。恵方とはその年の福德を司る歳徳神（年神様の別称）のいる方角で、その方角に向かって事を行えば、何事も吉とされております。吉方、明きの方ともいいます。

恵方は十干に深く関係しております。十干とは陰陽五行説の「木・火・土・金・水」を兄（え）と弟（と）に分け、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の10種類にしたものです。十干にはそれぞれに数字や方角が割り当てられており、それに基づき恵方も決められております。この十干に甲子や乙亥や丙子というのが10ありまして、干支が12ありますので、十干が6周、干支が5周でちょうど60年ということで、60年で1周回るということになっております。

有名な話「甲子園と十干十二支の意外な関係？」というのがありまして、夏の高校野球といえば甲子園球場ということで、この甲子園球場が完成したのは1924年です。この年は「甲子の年」に当たり、十干十二支の最初の組み合わせに当たる年で縁起が良いとされ、「甲子園」と命名されたそうです。

ちょっとお聞き苦しくて申し訳なかったですけど、十干というのを覚えておいていただくと少し賢く聞こえますので、よろしくお願い致します。では、行事がたくさんありますので、これで終わらせていただきます。

本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更のお知らせが届いております。2月は154円です。
- ・ ガバナー月信2月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ ガバナー事務所より「カルガリー国際大会 RI 理事主催親善



大竹密貴幹事

朝食会（旧：日本人親善朝食会）のご案内」が届いております。

- ・ 刈谷 RC より「IMに関する諸事お知らせ」が届いております。2月22日（土）にホテルクラウンパレス知立で13時30分から始まります。なお、名札・パンフレット・記念品は当日いただきますので、欠席されます方は後日お渡しする形になりますので、よろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後に第8回理事会を開催致しますので、よろしくお願い致します。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名（内出席免除者 14 名の内出席者 11 名）出席者 51 名	
出席対象者 51/57 名	出席率 89.47%
欠席者 9 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 今月もよろしくお願いいたします。
- 黒田 昌司君 角谷信二さんに感謝。
- 伊藤 正幸君 誕生日です。厚労省のデータでは余命18.73年だそうです、そこまでいけるか？
- 森田 雅也君 今日の卓話の講師 オクシモロンズの清水さんを紹介いたします。
増やしたくない年が増えました。ありがとうございました。
- 新美 雅浩君 本日、64回目の誕生日をかみさんと共に迎えました。
- 長田 和徳君 新入会員の内藤浩三くんを紹介します。
- 岡田 竜治君 先日、商工会議所の京都バス旅行にて役員の皆様大変お世話になりました。有難うございました。
- 内藤 浩三君 碧南ロータリークラブに2月から入会させていただき、ありがとうございます。
多くの方々と知り合い、楽しく参加させていただきたいと思います。
宜しく願いいたします。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

2日 牧野 勝俊君	3日 藤関 孝典君	5日 森田 雅也君
5日 新美 雅浩君	6日 坂 充貴君	7日 鈴木 朝生君
18日 植松 敏樹君	26日 伊藤 正幸君	26日 梶川 光宏君

奥様誕生日

5日 新美 雅浩君の奥様 美由紀様 8日 岡島 晋一君の奥様 朋子様

10日 亀山 晋次君の奥様 知美様 15日 倉内 松雄君の奥様 敦子様
16日 鈴木きよみ君のご主人様 正徳様 17日 榊原 靖浩君の奥様 京子様
21日 長田 康弘君の奥様 亜弓様 25日 山崎 太幹君の奥様 亜沙子様

結婚記念日

11日 平岩統一郎君・和恵様 47年 11日 新美 宗和君・雅代様 45年
25日 平松 則行君・啓子様 52年 26日 榊原 健君・陽子様 49年

入会記念日

3日 山口日出子君
5日 杉浦 秀延君、貝田 隆彦君、内藤浩三君
10日 服部 弘史君、大竹 密貴君
27日 杉浦 栄次君

卓 話

「私が思う『生活者としての外国人住民への日本語教育』」
一般社団法人オクシモロンズ 代表理事 清水きよ恵様



清水きよ恵様

初めまして、清水きよ恵と言います。よろしくお願ひ致します。

私は知立市からまいりました。愛知県に住み始めたのが2018年なので、すぐコロナになってしまい、愛知県のことは未だにあまり知りません。碧南市もついこの前、そこのニトリに来たぐらいなので、あまり存じ上げないんですが、よろしくお願ひ致します。

今日は「私が思う『生活者としての外国人住民への日本語教育』」というテーマでお話しさせていただきますが、そんな難しいことはお話ししません。私たちの身近に暮らす外国人の方々について知っていただくきっかけになればと思います。

まずは自己紹介ですが、出身は福井県福井市なので、愛知県には何もゆかりがありません。主人が知立市出身なので、6年前に引っ越してきました。田舎育ちですので、すごく外国に憧れがあって、高校3年生の時に留学をしました。それまで何不自由なく生活していた私にとって、言葉が通じない世界は大きなショックでした。アメリカではスーパーに行くにも車が必要で、一人では何もできないという挫折を味わいました。その経験が今の私の活動の原点になっているのかもしれません。

その後、大学で外国語を学びましたが、20代、30代は外国語を使う機会がほとんどなく、ベンチャー企業の支援を中心に仕事をしてきました。かなり頑張って仕事をしたので体を壊し、結婚するタイミングで鎌倉に引っ越しをしました。鎌倉も外国人がすごく多いところなんですけど、ほとんど観光客なので、愛知県とは全く違う環境でした。それでも外国語が好きだったので、子どもと一緒に多言語サークルに参加したり、ホストファミリーをしたりしながら

ら生活をしていました。

2018年に愛知県に移住し、2022年に「オクシモロンズ」という法人を設立しました。この名前は、「オクシ（鋭い、切れる）」と「モロンズ（鈍い、鈍臭い）」という対極の言葉を組み合わせたものです。様々なタイプの人々が集まり、何か面白いことをしたいという思いから名付けました。

次になぜ私が外国にルーツのある子どもたちが気になるのかをお話しします。外国にルーツを持つ子どもたちとは、日本国籍を持ちながらも、ほとんど外国人のような生活を送っている子どもたちを含みます。私が知立市にきた当初、近所のコンビニの周りに外国人の若者たちがたむろしているのを見て、不安を感じました。知立駅でも朝6時台は外国人の方々があふれています。集団で移動している姿を見ると、漠然と怖いと感じてしまう自分がいました。しかし、なぜ怖いのかと考えた時に私は彼らのことを知らないだけなのだ気付きました。知ることで見方が変わるのではないかと思います、子どもたちと関わることから始めました。

日本で生活している外国人は、2024年6月末時点で358万人いらっしゃいます。その中で愛知県は約32万人ということで、東京都に次いで全国で2番目に多い地域です。愛知県全体の人口に占める外国人の割合は約4.3%ですが、碧南市は約9%ということで、県内でも特に高い割合となっています。碧南市は外国人比率では愛知県内で3番目に高く、10人に1人近くが外国人という状況です。また、愛知県に長く住んでいる外国人の多くは、ブラジル・中国・フィリピン・韓国の方々です。近年ではベトナム・ネパール・インドネシアからの移住者も急増しています。

このようにすごく身近に外国人の方がいらっしゃる中で、私がどんなおせっかい活動をしてきたかを少しだけご紹介します。

1. 多文化子育てサロン

小さな子どもを持つ外国人親子向けの集まりです。外国人の母親はコミュニティがないと相談できる相手がいないため、孤独な子育てを強いられがちです。そこで、地域の支援センターや図書館、消防署などを訪れ、日本での子育てに必要な情報を提供する活動を行いました。

2. オンライン学習支援

外国人の子どもたちは日本語が十分に話せないことが多く、学校の授業についていくのが難しい状況です。特に社会や理科は言葉の壁が大きく、親も教えることができません。そこで、大学生や社会人ボランティアと協力し、オンラインで学習支援を行っています。

3. 対話型日本語教室

大人向けの日本語教室です。単なる日本語の文法学習ではなく、仕事や生活に関する会話を中心に実践的な言葉を学んでもらう場を提供しています。オンライン形式を取り入れ、多様な国籍の方々が参加しています。

私はおせっかい活動をいろいろやってきて、オクシモロンズで今中心なのはオンライン学習支援と対話型日本語教室なんですけれども、これをやる時には必ずボランティアの方々や近所の賛同してくれる仲間がいないと全く成立しません。私だけでできることは1つありません。

これらの活動を通じて感じるのは、外国人の方々が日本で安心して暮らせる環境づくりが重要だということです。外国人の子どもたちは「いずれ母国へ帰る。」と言われ、日本語の学習を軽視されることがあります。しかし、多くの子どもたちは日本で育ち、日本で働くこととなります。彼らが将来、自立し、社会に貢献できるような環境を整えることが必要です。また、企業で働く外国人の方々だけでなく、その家族の支援にも目を向けるべきだと考えています。外国人の家族が地域に溶け込み、快適に暮らせるようになれば、企業の安定した雇用にもつながると思います。

私は日本語教師ではありませんけれども、日本語を教えるというよりも、言葉を通じて外国人の方々が地域社会に溶け込み、日本人との相互理解を深めることが目的です。今回は愛知県の事業としてやっていますが、碧南市も「日本語ボランティア入門講座」というのを2023年にやっております。今後も外国人支援に関わる方々が増えていくと思います。経営者の皆様も何かしら気を掛けていただくと、働いている皆さんもやりがいを持ってお仕事できるかなと思います。

私の話は以上になります。ありがとうございました。

次回例会案内

令和7年2月19日（水）は22日の振替休会

令和7年2月22日（土）西三河分区インターシティーミーティング

会場：ホテルクラウンパレス知立

式典・講演 13:30～16:30 懇親会 16:30～18:30

令和7年2月26日（水）は定款第7条第1節（d）（1）の規定による休会

令和7年3月5日（水）クラブフォーラム「社会人野球と我が人生」

刈谷市軟式野球連盟 理事長 矢田昌弘氏